

2015/04/12(日)18:40

科目番号	授業科目	英語科目名	単位
21479	データベース入門 A	Introduction to Database System	2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員
2015年度 前期	月曜3限	講義および演習	今野 英明
授業内容	UNIX 上でファイルに格納されたテキスト形式のデータの扱いに親しむことから始め、構造を持つテキストデータの扱い方を学ぶ。さらに、データベースシステムの必要性を理解し、関係データベースシステムの基礎となる考え方とデータベース操作の実際を学ぶ。		
授業の位置づけ			
授業の目標	データやファイルの概念を知り、計算機上でのデータ操作が容易にできるようになること。		
到達目標	1. テキスト形式のデータをコマンド処理できること。 2. XML の概要を知り、XML 文書に対する簡単な処理ができること。 3. データベースシステムとは何であるかを知り、SQL 言語によるデータベース操作ができるようになること。		
授業計画	第1週: 授業内容の紹介・UNIX の基本的操作の復習 第2週: ファイルとディレクトリ操作 第3週: 文字列のマッチングと検索 第4週: レコードとフィールドの操作 第5週: XML の基礎 第6週: XML 文書の操作 (1) 第7週: XML 文書の操作 (2) 第8週: 試験 第9週: データベースの基礎概念 第10週: SQL と問い合わせの基礎 第11週: 表の結合 第12週: 演算子・関数と表のグループ化 第13週: 表の定義とデータ更新 第14週: データベースの設計 第15週: 試験		
成績評価	2 回の試験の成績の平均点により評価する。4 割以上の平均点を合格とする。欠席は 3 回まで。診断書のあ る病欠、冠婚葬祭、他の授業に係わるやむを得ない欠席は、申し出により、欠席回数に含めない。クラブ活 動の遠征等による欠席届けは受理しない。		
教職チェック リスト	学習指導力 それぞれの専攻・分野における講義・演習などを通して、専門領域（科目）で求められる基礎的あるいは 専門的な知識や技能を学年の進行に伴ってより深く理解し、習得する。 ・専門領域（科目）で求められる論理的な思考力や表現力を身につけるとともに、専門領域（科目）の様々 な事象に対する関心や意欲を育む。 ・追求すべき問題を見つけ、必要な資料や文献を収集・分析・活用しながら、問題を解決していくための基 本的な技能を習得する。 ・資料・文献を分析し、得られた知識や情報、それに対する自分なりの見解を適切にまとめ、発表する。		
テキスト	授業資料を授業日の昼休みまでに大学教育情報システムに掲載する。		
参考文献	増永良文, データベース入門, サイエンス社 (2006) 速水治夫 他, データベース, オーム社 (2002) C.J.Date, データベースシステム概論, 丸善 (1997) 日本ユニテックWeb技術研究グループ, はじめて読むXML, アスキー (2005) 松下 温 監修, 基礎Web技術, オーム社 (2003) W3C Consortium Homepage, http://www.w3.org/ 奥野 幹也, 理論から学ぶデータベース実践入門 ~リレーショナルモデルによる効率的なSQL, 技術評論社 (2015)		
オフィス・ア ワー	月曜日・5時限・研究室		

備考（履修条件・履修上の注意等）	授業のホームページは http://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/db/710/ である。 このクラスは基礎情報分野の学生向けクラスであり，社会文化情報分野向けの同科目は後期に開設される。 講義受講の前提は「情報機器の操作」で扱った基本的な UNIX コマンドの利用方法，および「プログラミング入門」で扱ったプログラム制御（プログラムの実行の流れ）の理解である。 講義資料は全般に印刷して持参するのが望ましいが，特に持参すべき回には別途指示する。
------------------	---